

SDGs未来都市等進捗評価シート

2018年度選定

大阪府堺市

2021年8月

SDGs未来都市計画名

堺市SDGs未来都市計画

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

堺市SDGs未来都市計画

(2) 2030年のあるべき姿

自由と自治の精神を礎に、誰もが健康で活躍する笑顔あふれるまち

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	水素エネルギー関連の民間投資案件【7.a】	2018年3月 3件	2020年度 6件	2030年 14件	27%
2	1事業所当たり付加価値額【8.3】	2016年6月 5,922万円	2016年6月 5,922万円	2030年 5,949万円	0%
3	本市の有業率【8.5,8.8,10.2】	2017年10月 56.5%	2017年10月 56.5%	2030年 59.7%	0%
4	産業部門のエネルギー消費量【9.4】	2014年3月 69,871 TJ	2018年3月 77,048 TJ	2030年 64,095 TJ	-124%
5	健康寿命の延伸【1.2,3.4】	2015年（男性） 78.14年	2015年（男性） 78.14年	2030年（男性） 80.54年	0%
		2015年（女性） 82.26年	2015年（女性） 82.26年	2030年（女性） 84.56年	0%
6	学力テストの堺市の平均値（全国を100とした場合）【4.1】	2017年4月（中学3年） 96.1	2019年度 95.8	2030年（中学3年） 102	-5%
		2017年4月（小学6年） 100.5	2019年度 100.5	2030年（小学6年） 105	0%
7	連続立体交差事業の進捗状況（進捗率）【11.2,11.7】	2014年度（南海本線） 鉄道工事本格着手	2020年度（南海本線） 高架工事着手	2027年度（南海本線） 完了予定	—
		2009年度（南海高野線） 新規着工準備採択取得（浅香山駅～堺東駅付近）	2020年度（南海高野線） ①都市計画案の縦覧 ②都市計画案の説明会を実施 ③環境影響評価準備書の説明会を実施	2040年度頃（南海高野線） 高架工事完了予定（浅香山駅～堺東駅付近）	—
8	電力自給率【7.a】	2014年3月 9.7%	2018年3月 12.6%	2030年 26.5%	17%
9	産業部門のエネルギー消費量（再掲）【9.4】	2014年3月 69,871 TJ	2018年3月 77,048 TJ	2030年 64,095 TJ	-124%
10	市民の環境活動取組率【12.8,17.17】	2017年7月 14.9%	2019年度 20%	2030年 21%	84%
11	温室効果ガス排出量【13.1】	2014年3月 936万t-CO2	2018年3月 906.8万t-CO2	2030年 686万t-CO2	12%
12	生物多様性認知度【15.5,15.8】	2017年7月 62.9%	2020年 80.9%	2030年 90%	66%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

○(4)2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況について

・No4.8.9.11の現状値については、算出するための根拠データの算定方法に変更が生じたため、2018年3月までの数値しか算定できない。よって、新たな方法により算出した当初値、現状値、目標値、達成度は以下のとおりとなる。

No4.9 産業部門のエネルギー消費量：当初値：90,535TJ（2014年3月）現状値：87,428TJ（2019年3月）目標値：78,675TJ（2030年）達成度：26%

No8 電力自給率：当初値：10.3%（2014年3月）現状値：12.9%（2019年3月）目標値：26.5%（2030年）達成度：16%

No11 温室効果ガス排出量：当初値：747万t-CO2（2014年3月）現状値：609万t-CO2（2019年3月）目標値：545万t-CO2（2030年）達成度：68%

・No7「連続立体交差事業の進捗状況」の南海本線については、概ね予定通りの工事進捗を確保することができている。南海高野線については、2021年8月に都市計画決定し、引き続き2021年度中の事業認可取得を目標に必要な手続きを進めている。

○本計画が2020年度に終了を迎えたため、新たな堺市SDGs未来都市計画（2021～2023）を策定。策定にあたっては、改めてSDGsの17ゴール、169のターゲットへの達成に資する指標について整理を行い、上記の各指標の大幅な見直しを実施。また、期間満了を迎えた本市総合計画についても、SDGs達成の視点を位置付けた「堺市基本計画2025」として策定するなど、各種計画においてもSDGsの達成を念頭に置いた策定や改定を進めている。また、多様なステークホルダー間のパートナーシップ強化及びその自律的な取組の促進を図るため、SDGsに関する情報集約・発信やSDGsに取り組む企業の登録・認証制度等の構築を推進するため、「さかいSDGs推進プラットフォーム」を令和3年5月に設立し、SDGsの推進に取り組んでいく。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2020年目標値	達成度(%)
1	① 子育てのまち・命のつながりへの挑戦！	健康寿命の延伸	2015年(男性) 78.14 年	2015年(男性) 78.14 年	2015年(男性) 78.14 年	2015年(男性) 78.14 年	2020年(男性) 78.64 年	0%
			2015年(女性) 82.26 年	2015年(女性) 82.26 年	2015年(女性) 82.26 年	2015年(女性) 82.26 年	2020年(女性) 82.66 年	0%
		学力テストの堺市の平均値（全国を100とした場合）	2017年4月(中学生) 96.1	2018年度 96.7	2019年度 95.8	2019年度 95.8	2020年度 102	-5%
			2017年4月(小学生) 100.5	2018年度 100.7	2019年度 100.5	2019年度 100.5	2020年度 105	0%
		連続立体交差事業の進捗状況	2009年度(南海高野線) 新規着工準備採択取得	2018年度(南海高野線) ①鉄道構造形式の概略決定 ②事業再評価のうえ、国や地元 事業概要説明 ③環境影響評価・説明会に着手	2018年度(南海高野線) ①鉄道構造形式の概略決定 ②事業再評価のうえ、国や地元 事業概要説明 ③環境影響評価・説明会に着手	2020年度(南海高野線) ①都市計画案の縦覧 ②都市計画案の縦覧の 説明会を実施 ③環境影響評価準備書の 説明会を実施	2020年度(南海高野線) 都市計画決定	-
おでかけ応援カードの保有率	2018年3月 64.6 %	2018年度 66 %	2019年度 68 %	2020年度 70 %	2020年度 67 %	225%		
2	② 歴史文化のまち・魅力創造への挑戦！	観光ビジター数	2017年度 1055.5 万人	2018年度 1047.9 万人	2019年度 1179.6 万人	2019年度 1179.6 万人	2020年度 1400 万人	36%
		百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の推進	ユネスコ世界遺産センターへ推薦書(正式版)を提出	2018年9月にイコモスによる現地調査を実施。	2019年 世界遺産登録の実現	2020年 世界遺産として保存管理を実施	2020年 世界遺産として保存管理を実施	100%
3	③ 匠の技が生きるまち・低炭素社会への挑戦！	①水素エネルギー関連の民間投資案件	2018年3月 3 件	2018年度 4 件	2019年度 5 件	2020年度 6 件	2020年度 4 件	300%
		②住宅用太陽光発電システム導入量	2017年3月 50.7 MW	2018年度 56.0 MW	2019年度 58.9 MW	2020年度 62.4 MW	2020年度 77.2 MW	44%
		1 事業所当たり付加価値額	2016年6月 5,922 万円	2016年6月 5,922 万円	2016年6月 5,922 万円	2016年6月 5,922 万円	2020年 5949 万円	0%
		本市の有業率	2017年10月 56.5 %	2017年10月 56.5 %	2017年10月 56.5 %	2017年10月 56.5 %	2020年 59.7 %	0%
		省エネ診断及び設備更新支援件数	2018年3月 132 件	2018年度 163 件	2019年度 188 件	2020年度 217 件	2020年度 200 件	125%
		堺エコロジー大学一般講座受講者数	2018年3月 22,936 人	2018年度(累計) 25,620 人	2019年度(累計) 28,538 人	2019年度(累計) 28,538 人	2020年度(累計) 32000 人	62%
		自立分散型エネルギーを利用している公共施設数	2018年3月 110 施設	2018年度 111 施設	2019年度 113 施設	2020年度 117 施設	2020年度 115 施設	140%
		「堺いきもの情報館」いきもの発見報告数	2018年3月 2,558 件	2018年度(累計) 4,137 件	2019年度(累計) 6,067 件	2020年度(累計) 7,861 件	2020年度(累計) 5500 件	180%
		堺エコロジー大学サポーター活動者数	2018年3月 317 人	2018年度(累計) 411 人	2019年度(累計) 509 人	2019年度(累計) 509 人	2020年度(累計) 680 人	53%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2020年目標値	達成度(%)
4	④ 市民が安心、元気なまちづくり	①体感治安が「良い」「どちらかといえば良い」と感じている人の割合	2017年度 46.3 %	2018年度 51.7 %	2019年度 45 %	2019年度 45 %	2020年度 70 %	-5%
		②犯罪に遭う心配をせずに、電車やバス、公園、道路、学校、職場、商業施設、文化施設など公共の場を利用することができる（「そう思う」「ある程度そう思う」と感じている人の割合	2017年度 41 %	2018年度 44.4 %	2019年度 44.1 %	2019年度 44.1 %	2020年度 70 %	11%
		①浸水危険解消重点地区の浸水対策実施率	2018年3月 60.8 %	2018年度 65.0 %	2019年度 76.7 %	2020年度 85.8 %	2020年度 85.8 %	100%
		②-(1)優先耐震化路線の耐震化率	2018年3月 69.0 %	2018年度 73.6 %	2019年度 78.3 %	2020年度 85.6 %	2020年度 82.0 %	128%
		②-(2)配水池の耐震化率	2018年3月 77.0 %	2018年度 77.3 %	2019年度 77.3 %	2020年度 77.4 %	2020年度 78.0 %	40%
		③-(1)重要な下水道管まの耐震対策率	2018年3月 99.5 %	2018年度 99.6 %	2019年度 99.7 %	2020年度 99.7 %	2020年度 100.0 %	40%
		③-(2)重要な下水道施設(建築)の耐震対策率	2018年3月 97.6 %	2018年度 97.6 %	2019年度 97.6 %	2020年度 100.0 %	2020年度 100.0 %	100%
		④緊急交通路・津波避難路等の橋りょうの耐震化率	2018年3月 84.7 %	2018年度 90 %	2019年度 97 %	2020年度 97 %	2020年度 100 %	80%
5	⑤ 都市内分権の推進	①区民評議会 答申・提言を反映した施策・事業の実施	2018年3月 (各区合計) 33 事業	2018年度 (各区合計) 23 事業	2019年度 (各区合計) 16 事業	2020年度 (各区合計) 7 事業	2020年度 (各区合計) 7 事業	86%
		②区教育・健全育成会議の提言を反映した施策・事業の実施	2018年3月 (各区合計) 24 事業	2018年度 (各区合計) 24 事業	2019年度 (各区合計) 22 事業	2020年度 (各区合計) 0 事業	2020年度 (各区合計) 7 事業	0%
6	泉北ニュータウンの再生の取組	南区の従業者数の維持	2016年6月 33,145 人	2016年6月 33,145 人	2016年6月 33,145 人	2016年6月 33,145 人	2020年 33,145 人	100%
		南区の健康寿命の延伸	2016年 (男性) 80.21 年	2016年 (男性) 80.21 年	2016年 (男性) 80.21 年	2016年 (男性) 80.21 年	2020年 (男性) 80.71 年	0%
			2016年 (女性) 84.36 年	2016年 (女性) 84.36 年	2016年 (女性) 84.36 年	2016年 (女性) 84.36 年	2020年 (女性) 84.86 年	0%
		南区のスマートハウス化の進展による温室効果ガス削減	2017年度 68.3 t-CO2	2018年度 67.6 t-CO2	2019年度 127.2 t-CO2	2020年度 183.7 t-CO2	2020年度 205 t-CO2	84%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

各ステークホルダー間のパートナーシップの強化やその自律的な取組の促進を図るため、SDGs推進プラットフォームを令和3年5月に構築した。また、SDGsに取り組む企業などの登録・認証制度の構築を進める。同制度の構築に向けては、国が設置する地方創生SDGs官民連携プラットフォームの「地方を元気にするSDGs登録・認証制度分科会」に参画し、優良事例や課題などについて他自治体と情報共有しながら検討を進めている。また、金融機関と連携し、企業がSDGsの取組によって生み出すQOLの向上や地域課題の解決などの非財務的価値や持続的な成長性を評価し、低利子融資などを行うSDGsファイナンス制度の構築について、上記の登録・認証制度と連動させることを視野に入れ検討を進める。これらの取組により、各ステークホルダーの自律的な取組を促進し、好循環の形成をめざす。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

○(1)自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況について

・No1「連続立体交差事業（南海高野線）の進捗状況」については、2021年8月に都市計画決定し、引き続き2021年度中の事業認可取得を目標に必要な手続きを進めている。【再掲】

・No5「①区民評議会 答申・提言を反映した施策・事業の実施」の現状値が7事業となっている内訳は、以下のとおりとなる。

【内訳】新規・拡充事業のみを算出（継続事業は含まない） 2事業：1区、1事業：5区、0事業：1区

・No5「②区教育・健全育成会議の提言を反映した施策・事業の実施」の現状値については、同会議が令和2年4月1日に廃止となったため、0事業となっている。

○提案時のモデル事業（泉北ニュータウンの再生の取組）に関する進捗状況等については以下のとおりである。

・2019年3月に堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアムを設立し、泉北ニュータウンをメインフィールドに、民間事業者と連携したヘルスケア分野の実証プロジェクトや新事業創出のためのマッチングイベント等を実施し、健康寿命の延伸や働く場の創出に向けた取組を行っている。

・泉北ニュータウン地域が、新たな価値を創造し、将来にわたって多様な世代が快適に住み続けることのできる「持続発展可能なまち」となることをめざし、2021年5月に新たな指針として「SENBOKU New Design」を策定し、ソフト・ハード一体となった取組を行っている。

・また、2021年5月に策定した「堺スマートシティ戦略」では泉北ニュータウンをスマートシティ化を進める重点地域として定め、「ヘルスケア」「モビリティ」「リモートワーク」「エネルギー」「コミュニティ」分野を中心に、民間事業者等との連携により、地域課題の解決や地域魅力の創出のための実証プロジェクトを進めている。

○本計画が2020年度に終了を迎えたため、新たな堺市SDGs未来都市計画（2021～2023）を策定。策定にあたっては、改めてSDGsの17ゴール、169のターゲットへの達成に資する指標について整理を行い、上記の各指標の大幅な見直しを実施。また、期間満了を迎えた本市総合計画についても、SDGs達成の視点を位置付けた「堺市基本計画2025」として策定するなど、各種計画においてもSDGsの達成を念頭に置いた策定や改定を進めている。また、多様なステークホルダー間のパートナーシップ強化及びその自律的な取組の促進を図るため、SDGsに関する情報集約・発信やSDGsに取り組む企業の登録・認証制度等の構築を推進するため、「さかいSDGs推進プラットフォーム」を令和3年5月に設立し、SDGsの推進に取り組んでいく。【再掲】

(4) 有識者からの取組に対する評価

・SDGs推進プラットフォームの設立、環境面での進展は評価できるが、経済、社会面での進展は乏しく、三側面を統合する自律的好循環の形成に関しては構想を明らかにすることが望まれる。市の総合計画更新を好機として、SDGs未来都市計画の抜本的見直しが行われることを期待する。

・産業部門エネルギー消費量の数値が2ページと3ページで傾向も含めて異なるのはなぜか。SDGs推進プラットフォームにおける連携が具体的にどのような成果につながっているのかを明らかにすることを期待する。